

今週（1月15日から1月19日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コールO/N物は、15日(月)が12月積み期の最終日となり、地銀業態を中心に調達ニーズが一段と強まり、出合いの中心は▲0.01%を上回る水準まで上昇した。16日(火)以降は、1月積み期の取引となり、マクロ加算残高にかかる基準比率が61.5%(前期比▲2.0%)まで低下した。これを受け、オファーサイドに厚みが増した事で、レート水準がやや低下したものの、地銀業態や一部系統金融機関からの調達ニーズが底堅く、出合いの中心は▲0.01%台での推移となり、積み期序盤としては高水準での取引が継続された。

ターム物は、ショートターム物を中心に▲0.02～▲0.01%程度で出合いが散見された。

日銀当座預金残高は、537兆円台からスタートし、16日(火)に国債買入オペやCP等買入オペにより539兆円台後半まで増加、その後は17日(水)の5年債発行などによる減少を受け、536兆円台での推移となった。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、▲0.11～▲0.085%のレンジでの取引となった。新しい積み期に入った事や輪番オペが意識され、15日(月)の前場のT/Nはレートが低下した。しかし、その後は売りが入りレートが徐々に上昇する展開となった。

SCは、カレント銘柄近辺や、チーベスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、3Mゾーンが軟調に推移した。

18日に実施された1Y物入札は無難な結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでは堅調に推移した。19日に実施された3M物入札はやや弱めの結果となり、結果発表後のセカンダリーマーケットでも小甘い推移となった。

●CP市場

今週のCP発行市場は、食料品、石油、鉄鋼、建設業など、複数の業態が大型発行を実施し、発行超のマーケットとなった。

市場残高は、週を通して概ね27兆円台前半から半ばでの推移となり、引き続き高水準を維持した。

発行レートについては、日銀適格担保銘柄の期内物の案件については、0%近辺での出合いが中心となった。一方で、3月末を跨ぐ案件については、政策変更への警戒感からか、レート水準にばらつきが見られた。また、非適格担保銘柄や、一部のノンバンク銘柄では、引き続き投資家のレート目線の上昇が見られた。

●短期金融市場関連指標

|         | 日経平均（円）   | 新発10年物<br>国債利回り（％） | 為替<br>（ドル/円中心相場） | 無担保コールO/N<br>（加重平均・％） | 東京レポレート(翌日物・<br>T+1スタート・％) | 日銀当座預金残高<br>（億円） |
|---------|-----------|--------------------|------------------|-----------------------|----------------------------|------------------|
| 1/15（月） | 35,901.79 | 0.555              | 145.10           | △ 0.009               | △ 0.110                    | 5,376,500        |
| 1/16（火） | 35,619.18 | 0.589              | 145.85           | △ 0.017               | △ 0.101                    | 5,397,700        |
| 1/17（水） | 35,477.75 | 0.605              | 147.39           | △ 0.014               | △ 0.097                    | 5,374,100        |
| 1/18（木） | 35,466.17 | 0.650              | 148.15           | △ 0.014               | △ 0.093                    | 5,369,800        |
| 1/19（金） | 35,963.27 | 0.665              | 148.08           | △ 0.011               | △ 0.091                    | 5,362,500        |

## 来週（1月22日から1月26日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

|          | 国内主要経済指標                                                                                                               | 国債等入札予定                     |                            |  | 海外主要経済指標                                                     |
|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------|----------------------------|--|--------------------------------------------------------------|
| 1/22 (月) | 日銀金融政策決定会合(1日目14:00～)                                                                                                  | 流動性供給<br>5,000億円<br>1/23発行  |                            |  |                                                              |
| 1/23 (火) | 日銀金融政策決定会合(2日目9:00～)<br>日銀総裁定例会見(15:30)<br>経済・物価情勢の展望                                                                  |                             |                            |  |                                                              |
| 1/24 (水) | 12月の貿易統計(財務省 8:50)                                                                                                     | 交付税借入<br>13,000億円<br>1/31借入 |                            |  |                                                              |
| 1/25 (木) |                                                                                                                        | 40Y<br>7,000億円<br>1/26発行    |                            |  | ECB理事会<br>10-12月期の米GDP速報値<br>12月の米新築一戸建て販売件数<br>12月の米耐久財新規受注 |
| 1/26 (金) | 金融政策決定会合議事要旨(12月18・19日分 8:50)<br>1月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30)<br>12月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)<br>11月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00) | TB3M<br>56,000億円<br>1/29発行  | 交付税借入<br>12,500億円<br>2/5借入 |  | 12月の米個人所得・消費支出(PCE)                                          |

### ●資金需給予想

| 単位：億円    | 銀行券要因 | 財政等要因   | 資金過不足   | オペ種類                 | 期日分             | 新規実行分  | オペ合計    | 実質過不足    | 需給要因                                                                       |
|----------|-------|---------|---------|----------------------|-----------------|--------|---------|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| 1/22 (月) | 1,000 | ▲ 200   | 800     | 国債買入<br>国債補完<br>CP買入 | 32,600<br>▲ 200 | 13,700 | 46,100  | 46,900   | TB3M発行▲56,000 償還56,000<br>TB1Y発行▲35,000 償還34,500<br>エネルギー対策借入▲7,300期日6,400 |
| 1/23 (火) | 500   | ▲ 4,000 | ▲ 3,500 | 社債買入<br>全店共通         | ▲ 8,400         | 1,000  | ▲ 7,400 | ▲ 10,900 | 流動性供給▲5,000                                                                |
| 1/24 (水) | 1,000 | ▲ 1,500 | ▲ 500   |                      |                 |        | 0       | ▲ 500    |                                                                            |
| 1/25 (木) | 2,000 | 12,000  | 14,000  |                      |                 |        | 0       | 14,000   | 交付税借入▲13,000 期日13,000                                                      |
| 1/26 (金) | ▲ 500 | ▲ 8,000 | ▲ 8,500 |                      |                 |        | 0       | ▲ 8,500  | 40Y発行▲7,000                                                                |
| 週 間 合 計  | 4,000 | ▲ 1,700 | 2,300   | —                    | 24,000          | 14,700 | 38,700  | 41,000   |                                                                            |

1/22は日銀予想、1/23以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、大手行の動向にも左右されるものの、依然として調達サイドのニーズが旺盛なため、レートは高水準での推移が予想される。債券レポ GC T/N物は、▲0.12～▲0.07%のレンジでの推移を予想する。短国市場は、26日に3M物の入札実施が予定されている。また、23日に実施が予想される短国買入オペは、1,000億円程度が見込まれる。CP市場は、26日にCP等買入オペが4,000億円予定されており、結果が注目される。

主要なイベントは、国内では22日から23日に日銀金融政策決定会合、経済・物価情勢の展望、26日に金融政策決定会合議事要旨(12月18・19日分)、1月の都区部消費者物価指数、海外では、25日にECB理事会、10-12月期の米GDP速報値、26日に12月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。  
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。  
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入